

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 5月11日更新

事務事業名	小中学校卒業記念品贈呈事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9 義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名	曾我 陽子
	施策の柱	33 徳育の推進	所属班	学務指導班	(内線)	5326
予算科目	会計一般	款 10	項 2	目 1	事業連番 10642 他	根拠法令 なし
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	小中学校を卒業する児童生徒に、小中学校の教育課程の修了を祝い、母校への愛着を持ち、誇れる郷土を記憶に残してもらうため、卒業の記念となる品を贈呈する。 ※令和2年度より「小中学校運営事業」に統合廃止。
【業務の流れ】	記念品選定業務、単価契約業務、記念品単価契約、購入支払い事務
【主な予算費目】	報賞費
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
卒業記念品として小学校では英和辞典を選定、中学校では印鑑を選定し、それぞれ単価契約を結び、各学校ごと統一単価で購入し、卒業する児童生徒に記念品を贈った。	卒業記念品として小学校では英和辞典を選定、中学校では印鑑を選定し、それぞれ単価契約を結び、各学校ごと統一単価で購入し、卒業する児童生徒に記念品を贈る。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア: 児童一人当たりの記念品単価	円 事業統合したことによる事業費の減
イ: 生徒一人当たりの記念品単価	円
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
小中学校を卒業する児童生徒	(単位)
	ア: 卒業する小学校6年生の児童数 人
	イ: 卒業する中学校3年生の生徒数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
小中学校を卒業する児童生徒に、小中学校の教育課程の修了を祝う	(単位)
	ア: 卒業記念品を贈れなかった小学校6年生の割合 %
	イ: 卒業記念品を贈れなかった中学校3年生の割合 %
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠	
記念品を贈ることで母校への愛着と誇れる郷土を自身の記念に残すため	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	円	1,200	1,200	1,200	1,200				
	イ	円	1,600	1,600	1,600	1,600				
② 対象指標	ア	人	740	737	740	740				
	イ	人	656	655	665	665				
③ 成果指標	ア	%	0	0	0	0				
	イ	%	0	0	0	0				
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	1,614	1,672	2,285	1,847			
		(A) 事業費計	千円	1,614	1,672	2,285	1,847			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	1	1	3	1			
延べ業務時間	時間	40	50	16	20					
(B) 人件費計	千円	158	197	63	79					
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,772	1,869	2,348	1,926					

事務事業名	小中学校卒業記念品贈呈事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 今後も記念品を贈る <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 卒業記念品を贈る事業であり、小中学校の教育課程の修了を祝い、母校への愛着を持ち、誇れる郷土を記憶に残してもらうためには、今後も継続して行く必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和2年度より、小中学校運営事業に統廃合・連携する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 他に単価が安く、卒業生のためになるものがあれば削減余地はあるが、毎年好評をいただいている。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市職員の事業量はわずかなものであり削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市からの卒業のお祝いであり、受益者負担をとるのは適当でない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 移行できない

3 評価結果の総括 (CHECK)

小中学校の教育課程の修了を祝い、母校への愛着を持ち誇れる郷土を記憶に残してもらうため、児童生徒に卒業記念品を贈呈した。
記念品 (小学校・国語辞典、中学校・印鑑) については、それぞれに単価契約を結び、各学校ごと統一単価で購入を行った。
価格等も含め、今後も、卒業生にとって有用な記念品の選定について検討を行っていく必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						